

本校の授業 その6

1年 音楽 鈴木 樹

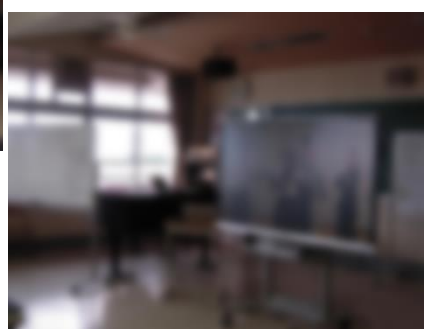
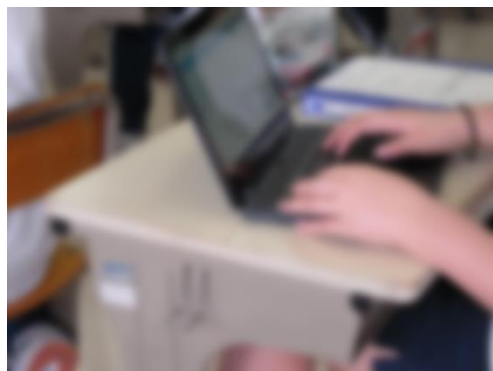
【題材】 音楽 鑑賞「ヴィヴァルディ 春」

＜本日の課題＞

ヴィヴァルディは、ソネット（小鳥・小川・雷雨）の情景をどのように音楽で表現したか



①ヴィヴァルディの名曲「春」をもとに音楽の表現を味わう教材である。本時の前に弦楽器について学習している。楽器の大きさで音の高低の違いを確認している。その楽器を用いてどのように小鳥のさえずりや小川、雷雨を表現しているのかをみんなで探っていく授業である。

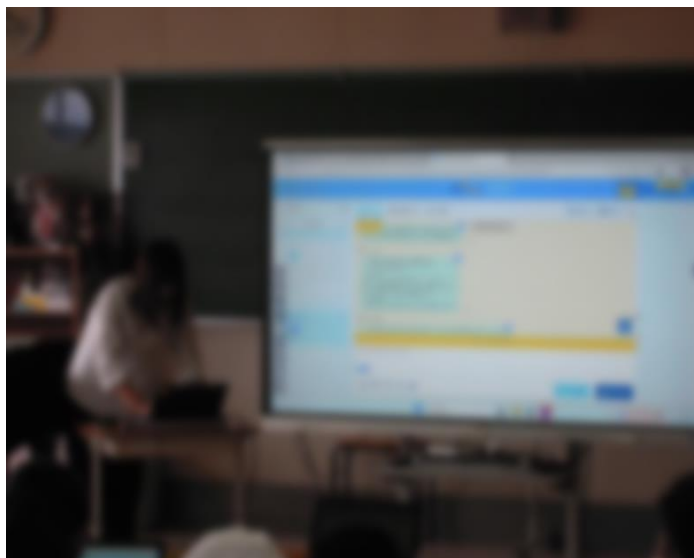


②何度も演奏を聴かせる。次第に生徒たちは様々な表現に気づいていく。

③ヴィヴァルディの表現に気づいた生徒たちは、タブレットにどんどん考えを書き込んでいく。

④その書き込んだ情報をタブレット同士がチャット形式で意見交換して、さらに考えを練り上げ、表現の工夫を探っていく。

⑤生徒の気づきは以下である。
・雷雨は低めの音、強い音、細かいリズムなど情景を表す音楽の特徴に気づくことができた。
・同じ場面に対しても説明する根拠の違いも共有でき面白かった。
・情景を表す音楽の特徴に気づき根拠をもって説明できるようになった。



＜指導者の工夫＞

- ①ソネット（小鳥・小川・雷雨）を先に示し、表現方法を探究させる。
- ②気づきメモ（タブレットの機能）で思考を可視化する。
- ③他者参照による考えの更新によって聴き方を広げる。